

2024年7月1日

職員各位

社会福祉法人福祉会
本部事務局

介護職員処遇改善加算について

処遇改善加算に関する支給方法及び取り組みについて、下記に記載しますので、内容の確認をお願いします。

1. 介護職員処遇改善加算に支給方法

(1) 資格手当

- ・介護及び高齢者福祉に寄与する資格を持つものに支給。

(2) 委員会手当

- ・法人が指定する介護に関する委員会に所属する職員に支給。

(3) 入所施設勤務手当

- ・交代勤務がある事業所に勤務し、交代勤務を了承している職員に支給。

(4) 増額夜勤手当

- ・夜勤を行う介護職員に、手当表に記載の金額を支給

(5) 早遅手当

- ・早出、遅出を行う介護職員に、手当表に記載の金額を支給

(6) 子育て支援手当

- ・不定休の勤務を行うもので、不規則な勤務によって生じる子育ての負担を軽減するために支給。支給対象職員は、法人の福利厚生に関する会議に意見を提出することとする。不定休の勤務でない場合は、法人持ち出しとする。

(7) 住宅手当(賃貸)

- ・不定休の勤務を行うもので、遠方からの通勤により安全の確保が難しく、近隣に賃貸契約を結び勤務しているものに支給する。支給対象職員は、介護業務に関する交通安全の研修に参加することとする。不定休の勤務でない場合は、法人の持ち出しとする。

(8) 特定処遇改善支援手当

- ・介護経験や介護資格、職種により、手当表に記載の金額を支給。

(9) 処遇改善手当

- ・職種により手当表に記載の金額を支給。

(10) 土日祝日手当(パート)

- ・土日祝日に勤務するパートの介護職員に支給。

(11) ベースアップ(本俸として支給)

- ・2023年と2024年を基準に、ベースアップを行う。

(12) 一時金として支給

- ・介護職員等処遇改善加算の制度に則り、加算取得金額の残額を賞与及び一時金として支給。

*上記の支給は、介護職員又は高齢者福祉に従事する者として、利用者様に安定したサービスを提供するために支給するものです。内容を理解し職務に従事してください。

2. キャリアパス要件

(1) キャリアパス要件Ⅰ

職能資格一覧及びキャリアアップを作成し、ホームページ(職員ページ)に記載。
特養1階喫茶コーナーに、職員の名前及び取得資格を記載。

(2) キャリアパス要件Ⅱ

資格取得支援申請について、ホームページ(職員ページ)に記載。
年間研修計画をホームページ(職員ページ)に記載。
日建学院と契約し、実務者研修を特養で実施(職員料金を設定)。
夏季・冬季賞与時に、博覧強記(学びたい内容)について提出。

(3) キャリアパス要件Ⅲ

職能資格一覧及びキャリアアップを作成し、ホームページ(職員ページ)に記載。
各種手当表に記載(フロア毎に配布)。
賞与時に情意考課表を作成。同業種や同ユニット内での評価を行い昇給に反映。

3. 職場環境等要件

(1) 入職促進に向けた取り組み

- ・職業体験の受け入れとして、トライやるウィークの実施、インターンシップ受け入れ登録、姫路福祉保育専門学校との連携、市内小学校及び相生学院の福祉授業の講師活動。
- ・中高年齢者等の幅広い採用の仕組みとして、70歳を超えた方の職務内容の変更や有償ボランティアとしての受け入れを実施。

(2) 資質向上やキャリアアップに向けた支援

- ・実務者受講支援として、法人内で研修が受けられるように日建学院と連携。相生市内の実務者研修会場として登録。
- ・賞与時に次期目標を情意考課表と共に提出。それをもとに面談を実施。

(3) 両立支援・多様な働き方の推進

- ・子育てと仕事の両立支援の為、法人内に事業所内託児所を設置運営している。
- ・非正規職員から正規職員への契約変更。契約職員65歳を超えた職員には、正職員からパート又は有償ボランティア等への契約変更を実施。

(4)腰痛を含む心身の健康管理

- ・腰痛対策の実施として、腰痛ベルト購入の補助と特養に特浴 2 台と中間浴 1 台、デイに特浴 1 台と中間浴 1 台を設置している。
- ・21 世紀職業財団と業務契約し、職員のメンタル面での相談窓口として活用。

(5)生産性向上のための業務改善の取組

- ・眠りやベッドでの状態が確認できる arms を導入し負担を軽減。
- ・掃除担当職員、洗い物補助職員、入浴担当職員を募集。介護職員の負担軽減を行う。
- ・タブレット端末で介護記録の入力ができる環境を整備。PC とタブレット双方での操作が可能。

(6)やりがい・働きがいの醸成

- ・地域包括ケアの一員として、地域包括ケアシステム会議に参加。小学校の福祉授業や高校の福祉授業の講師を派遣。トライやるウィーク時に、認知症サポーター研修を実施。
- ・チャットワークを利用し、職員間での情報及び意見交換が行える環境を整備。